



大北小だより

<http://www.ooizumi-n-e.nerima-kyo.ed.jp/>

1月号

平成26年 1月 8日

練馬区立大泉北小学校

校長 小島 英樹

節 目 の 年 に

校 長 小 島 英 樹

新たな一年のスタートに気合いを込め、真新しいカレンダーの表紙をめくる時、誰もが改まった気持ちになって、わくわくするのではないのでしょうか。

「新年」「年始」「初春」などの言葉には、新生と再生への希望と期待が感じられ、それまでのさまざまな辛苦や失敗の数々を覆し、始めからすべてをやり直せるかのような気持ちにさせる不思議な魔力が秘められています。あたかもゴールできなかったゲームをリセットさせるボタンのように。

ところが、新年の希望や再チャレンジへの期待感も、ただカレンダーの表紙をめくっただけでは、当然何一つ実現しません。二日経ち、三日経ち、やがてお正月気分も抜けて“日常”が戻ってくるに従って、いつの間にか昨年までと同じ日々を過ごし、同じ失敗を繰り返している自分に気付いて愕然とします。

人間とは、弱いものです。本当は、自分自身の死に物狂いの努力と、決してあきらめることのない根気強さをもち続けることでしか、自分を変えることはできないと知っているのに、ついつい安易な他力に頼ってしまうのです。

大切なことは、劇的に変化させることではありません。他人から見れば実に他愛のない小さなことであっても、自分が決めたことを、地道に、粘り強く、ただひたすらに続けていくこと。そのことが最も価値あることなのです。その行動を私達は「努力」と呼び、自分で決めたことを「目標」・「夢」・「希望」と呼び、自分を変えようと心に描き続けることを「勇気」と呼びます。

今年の12月6日(土)に大北小は、「開校40周年記念式典」を挙行いたします。新たな一步を踏み出す節目の年を迎えて、改めて「努力」と「希望」と「勇気」の心をもった、心身ともにたくましい大北小の子供を育てていきたいと念じつつ、校長室のカレンダーの表紙を気合いとともにめくりました。

「どんど焼き集会」

特別活動部 赤川 智子

1月16日(木)8時25分から1時間目の時間に「どんど焼き集会」が校庭で行われます。「日本古来の伝統行事であるどんど焼きを体験すること」「異年齢集団での交流を深めること」をねらいとしています。

当日は、代表委員が司会をし、どんど焼きの由来のお話を聞かせてくれます。また、和太鼓クラブが迫力のある演奏で集会に花を添えます。校庭の中心に作られたどんど焼きの山の炎を囲んで、けやき班遊びの計画もされています。

9日(木)、10日(金)の登校時刻にどんど焼きで燃やす松や書き初めの書き損じ用紙を集めます。ご協力をお願いします。なお、金属やプラスチックのついた物は、集めませんのでご理解ください。

1 月行事予定表

今月の生活目標： 学習の用意をきちんとしよう(忘れ物をしない)

みんなで使う物を大切にしよう 進んであいさつしよう

日	月	火	水	木	金	土
5	6	7	8 登校日 全校朝会 4時間授業	9 給食始め	10【B時程】 安全指導 身体計測6年	11 土曜授業公開 (月曜時間割)
12	13 成人の日	14 身体測定5年 校内書写展始 (~23日)	15 身体測定3年	16【B時程】 どんど焼き集会 けやき班遊び 身体計測4年 道徳授業地区 公開講座 保護者会 (1・2・3年)	17【B時程】 身体計測2年 道徳授業地区 公開講座 保護者会 (4・5・6年)	18 小学校 連合図工展 (~22日)
19	20 全校朝会 避難訓練 (火災) 委員会活動	21 身体計測1年 4年社会科見学	22	23 5年セーフティ教 室 情報モラル講習 会(保護者向け)	24【B時程】 5時間授業 (校内研究会の ため)	25 小中連合 書写展 (~26日)
26	27 全校朝会 クラブ活動	28 6年社会科見学 5年収穫祭 (6校時)	29 節分集会	30 新1年保護者会 (14:30~) 5年社会科見学	31 防災授業5年	

小学校連合図工展 平成26年1月18日~1月22日 練馬区立美術館にて(20日(月)休館日)

小中連合書写展 平成26年1月25日~1月26日 練馬区立美術館にて

情報モラル講習会



今、携帯電話や携帯ゲームを介して、ネット犯罪やネットいじめ等の事案が小学生にまで降りてきています。そんな中、保護者は正しい知識をもって今後に備え、子供を守っていく必要があります。

そこで、23日(木)14:20~図書室にて「情報モラル講習会(保護者向け)」を開催いたします。どなたでも参加できますので、是非参加されて、子供を犯罪やいじめから守りましょう。参加された方からは毎年、「スマホ、ケータイの危険性を初めて知った。参加してよかった。」という感想を頂いています。

欠席連絡は

連絡帳でお願いいたします。

副校長通信

~笑顔でいること~

副校長 城崎 真

ある保護者の方とお話しする機会がありました。その方は、いろいろな日々の苦勞が人一倍ある方です。しかし、子供と接するときには必ず笑顔でいようと心に決め実践しておられるそうです。

また、ある教育に関する記事を読んでいたときにも同じようなことが書かれていました。紹介します。

「子供は、親が機嫌良く過ごしていることを、とてもうれしく感じている。親自身がハッピーでいることが、子供にとってのハッピーな気持ちをもたらすと言えるかもしれません。」

つい先日、病院に行ったときのことで。総合病院はいつも混んでいて、待つ時間が長いです。待合室は、入口の自動ドアが開くたびに入ってくる冷気で、心まで冷たくなりそうです。しかし、ある受付の女性は、誰に対してもずっと笑顔で接しています。その笑顔を見ていたら、こちらまで幸せな気持ちになり長い待ち時間や冷気も苦にならなくなりました。

「笑顔いっぱい大北小」 もし、だれかが笑顔を忘れていたら、笑顔で接し、ハッピーな気持ちにさせてあげたいと心に決めました。